

評価シート①

大項目「教育委員会の活動状況」

中項目	点検内容	活動 指標	30年 度	元年 度	比較増 減	自己評価結果
(1)教育委員会の 構成	①構成数	人	5	5	0	適正な規模を維持している。
	②年齢別	歳	60	62	2	(各年度12月23日現在)
	③性別	男女 比率 (%)	40	40	0	適正な規模を維持している。
(2)教育委員会 議の開催状況	①会議開催数	回	28	26	△2	教育委員会会議規則で毎月22日に定例会を開催する規定に則り、毎月1回(年12回)の定例会教育委員会は開催できた。 なお、前期教育委員会及び定例会教育委員会の日程以外に、緊急に会議を開催する機会が多かったが、適切な段階で検討・意思決定を行うことができた。
	②延出席数(教育長除く)	人	102	104	2	延出席数の増は、開催回数が増によるものである。1回あたりの平均出席はR1 4.00人(H30 3.61人)であり、委員はすべての会議に出席しており問題はない。
	③教育委員会開催における 運営上の工夫				0	説明に時間を要する案件の資料の事前送付、また、前期教育委員会をテーマを持った勉強会としたことによって、議論の活性化をはかることができた。
(3)教育委員会 議の情報公開の 状況	①会議傍聴数	人	0	3	3	令和元年度は1月定例会教育委員会を総合教育センターで開催するなど、開催場所の工夫を試み、3人の傍聴者があった。今後も、会議開催時間や場所を工夫し、参加しやすい環境づくりに努めたい。
	②議事(要)録の公表	件	12	12	0	令和元年度も引き続き議事録を公表することができた。

評価シート①

		自己評価結果			
中項目	点検内容	活動指標	30年度	元年度	比較増減
(4) 行政等が主催する行事への出席数(教育長除く)	①参加回数	回	172	126	△ 46
(5) 議会出席状況	①議会の出席状況(教育長除く)	回	0	0	0
(6) 首長との連携	①意見交換会の状況	人	8	8	0
(7) 教育委員の自己研鑽	①研修会等への参加状況	回	125	129	4
(8) 学校訪問	①学校訪問(A) 訪問率	%	76.7	78.6	2
(9) 教育に関連する外部団体等との意見交換	①意見交換等回数	回	46	49	3

行政等が主催する行事に対して、出席努力・自主判断の区分をしている。前年度から46回減となり、活動量としては、昨年度より26%程度減少している。これは、年度末(3月)の行政行事が新型コロナウイルス感染症拡大の影響から中止されたことが主な理由である。

27年8月から新教育委員会制度に移行したことで、議会への出席ができなくなったため、教育長以外の委員の出席はなかった。しかし、定例会ごとの一般質問等の質疑内容について、直近の定例教育委員会で報告しており、委員、事務局間で情報の共有はできている。

改正地教法に則り、総合教育会議として公式行事の形で開催した。2回の会議に延べ8名の出席で、全員が参加している。このことは教育委員としての役割を十分果たしているものと考ええる。

研修に関し、出席努力・自主判断の区分をしている。自主判断による研修への参加回数は、前年度から4回増となり、活動量として2%程度増加している。委員それぞれの分野で十分な研修活動を行っていると考ええる。

学校訪問(A)については延べ56名の出席努力数に対し、44名と欠席することがあった。しかし、校長に異動があったり、新たな取り組みを行う学校について、どのような学校運営をしているのかなどの状況把握を目的に、本来出席努力としない学校訪問(B)にも、積極的に参加している。

市P連や教育会等、本市教育行政の推進に重要な役割を果たしている団体を中心に、意見交換を行っている。関連団体の定例的な会議への出席だけでなく、幼児・家庭教育や発達障害に関する会議等、幅広い分野との意見交換を行うことができた。